

全視情協通信 / な い - ぶ	1998 / 6 / 15
NAIIV	No. 19
発行 発行責任者 川越 利信	
全国視覚障害者情報提供施設協議会(全視情協) (社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 情報サービス部会)	
事務局 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-13-2 日本ライトハウス盲人情報文化センター内 Tel. 06 - 441 - 0015 Fax. 06 - 441 - 0039 E-mail: HBD00035@niftyserve.or.jp	

主 な 内 容

- 「音声情報」、予算化 1
- 運営基準第3次案検討会のお知らせ 2
- 全視情協会則改正
 - ポイントとその意味するもの - 2
- 平成10年度事業計画と委員会活動計画 3
- 全視情協常設委員会委員名簿・役員名簿 8
- 介護支援専門員標準テキストのテープ版 日盲連から発売 10
- 第24回全視情協長崎大会
 - プログラムと特徴 - 11

「音声情報」、予算化

去る5月28日、埼玉で開催された第46回日盲社協大会に出席した厚生省（障害福祉課）の遠藤 浩 課長は、平成10年度の補正予算で日盲連、国立施設を含む視覚障害者情報提供施設（点字図書館）約100施設を対象に、「デイジー」をベースとした音声情報関連機器費約4億2千万円を予算計上した旨を公表した。

全視情協は去る4月、板山賢治日盲社協理事長の助言に基づいて「視覚障害者情報提供施設に対してデジタル化に伴う機器費約5億7千万円の予算化を厚生省（障害福祉課）に要望した。一方、リハ協（日本障害者リハビリテーション協会）からも予算化への積極的で説得力のある働きかけが行われた。

結果的に、『デイジー』による視覚障害者情報提供システムの整備」事業費としてリハ協取扱いで補正予算に計上されることになった。

実施の方法としては、リハ協から全国の対象施設に機器貸与の形で行われる。

視覚障害者が高度情報化社会に対応してゆくためには、情報提供施設のデジタル化対策を急ぐことが大事である。

その意味において、今回の予算措置は、時宜を得ており、これまで手つかずだった音声情報分野でもあり、視覚障害者の情報環境整備に計り知れない成果をもたらすに違いない。同時に、国際標準システム「デイジー」を情報インフラとして導入することは、視覚障害者への情報支援の分野において日本が国際的に貢献するということをも意味している。

運営基準第3次案検討会のお知らせ

日盲社協埼玉大会における講演の中で、厚生省障害福祉課の遠藤浩課長は設備運営基準にも触れ、「改正の時期にきている」との見解を示した。

本会では平成8年度から設備運営基準の改正案の作成に取り組み、第2次案まで検討してきた。改めて今、平成11年の法律改正に基づく新たな福祉時代と高度情報化社会に対応できる第3次案を早急にまとめあげなければならない。その上で、障害福祉課と相談の機会をもてるよう、準備を進めたい。

来る7月14日(火)、日本ライトハウス盲人情報文化センターにおいて、第3次案の検討会が開催される。興味のある方、意見をお持ちの方は誰でも出席が可能。具体的な提言は、7月10日までに文書で、全視情協事務局まで。

全視情協会則改正 ポイントとその意味するもの

全視情協と日盲社協の情報サービス部会(元、点字図書館部会)とは、全く同一組織で単に2枚看板を有しているにすぎなかった。つまり、同じコインであることに変わりはなく、裏表の絵模様が異なるだけだった。

平成9年秋に開催された全視情協帯広大会において、日盲連(日本盲人会連合)の村谷昌弘会長は、それまでの全点協(全国点字図書館協議会)から名称変更した全視情協に対して厳しい口調で次の2点を指摘した。

- (1) 全視情協は、組織名称を変更したにもかかわらず従来型の点字図書館の域を全く脱していない。新組織名称にふさわしくない状態にある。
- (2) 視覚障害者への情報提供に関係している幅広い層から組織を構成せよ。

村谷会長の指摘は、高度情報化社会に視覚障害者が対応していくためには、まず、情報関係者の大同団結による情報提供施設の強化を図る必要があるとの主張で、正論である。

ではあるが、実際には少々難儀な話ではある。

指摘（１）については、情報提供施設（点字図書館）関係者の認識と運営基準がバリアとして立ちふさがり、ことは容易に運ばない。指摘（２）は、もし実行するならば、日盲社協の枠の外に一步足が出てしまうことを意味する。そして、これまでの「２枚看板」ではなく、全視情協は別組織となる。

去る５月２７日に開催された日盲社協大会における情報サービス部会（兼全視情協総会）で、特別委員会てんやく広場の常設委員会への格上げ並びにネットワーク委員会との統合に伴い、全視情協の会則が改正された。

改正のポイントは以下の３点に集約される。

- １．ボランティアグループの参加を可能にした。
- ２．「視覚障害者情報ネットワーク」の構築と運営を組織の主要目的とし、専従者の配置を盛り込んだ。
- ３．コインの裏表にズレが生じた。つまり、日盲社協の情報サービス部会と全視情協とは、事実上、別組織になった。

ということで、改正の意味するところは、村谷会長による指摘（２）、視覚障害者への情報提供に関する施設・団体等の大同団結に向けて、一步、足を踏み出したことになる。

日盲社協 情報サービス部会 全国視覚障害者情報提供施設協議会

平成１０年度事業計画

平成１０年度基本事業方針

テーマ：視覚障害者情報提供施設の機能・役割の抜本見直し
視覚障害者情報提供施設としてどうあるべきか

平成１０年度は、昨年度に引き続き、視覚障害者情報ネットワークシステムにおける点字情報部分の充実と音声情報部分の新たな構築を促進しつつ、視覚障害者情報提供施設の基本的なあり方を抜本的に検討する。

(1) 視覚障害者情報ネットワークの構築

点字情報

「てんやく広場」特別委員会を常設委員会に格上げ変更。ネットワーク委員会と合併、改称。より充実したネットワーク・システムの構築を目指す。

音声情報

デイジーをベースとしたデジタル録音図書の普及

(2) 運営基準の改正案の検討

(3) 法人事業「視覚障害者情報問題研究委員会」への協力

(4) 著作権問題研究

(5) 弱視者対策の検討

(6) 専門性の確立と社会啓発

点訳・音訳のための入門書を作成(「視覚障害者介護技術シリーズ」)

主な年間行事

(1) 全視情協長崎大会 (第 24 回全国視覚障害者情報提供施設大会)

開催日 平成 10 年 10 月 14 日 (水) ~ 16 日 (金)

会 場 ルークプラザホテル (長崎市)

主 管 長崎県立点字図書館

(2) 平成 10 年度点字指導員講習会 (資格認定講習会)

開催日 平成 10 年 8 月 26 日 (水) ~ 28 日 (金)

会 場 戸山サンライズ (東京)

担 当 点訳委員会

(3) 平成 10 年度音訳指導技術講習会

開催日 平成 10 年 11 月 11 日 (水) ~ 13 日 (金)

会 場 未定 (東京)

担 当 録音委員会

平成10年度 委員会活動計画

点訳委員会

1. 平成10年度点字指導員講習会（資格認定講習会）

要綱等 発送済み

作業日程	10年4月上旬	案内状発送
	5月上旬	申し込み締め切り
	6月上旬	課題文締切
	6月中旬	課題文審査
	6月下旬	受講者決定
	8月下旬	講習会実施
	11年3月	認定証発行

2. 校正問題集編集発行

「点訳問題集 例文編」に続き、10年度は「校正問題集」を編集・発行する。

3. 点訳委員会開催

6月中旬	関東小委員会（課題文の審査）
（各1日）	中部小委員会（同上）
6月下旬	点訳委員会
（2泊3日）	（1）受講者の決定 （2）認定試験問題文の決定（点訳問題、校正問題） （3）その他、講習会準備 （4）校正問題集編集
9月中旬	関東小委員会（認定試験の審査） 中部小委員会（同上）
10月中旬	点訳委員会
（2泊3日）	（1）指導員認定者の決定 （2）その他 校正問題集編集
11年1月	点訳委員会
（2泊3日）	（1）認定者の最終決定 （2）校正問題集編集 （3）平成11年度点字指導員講習会準備
3月	点訳委員会
（1泊2日）	（1）校正問題集編集 （2）平成11年度点字指導員講習会準備

「平成10年度点字指導員講習会」開催にむけて

平成9年度の後半にメンバーが1名補充されて7名になりました。今後も残り1名の補充に努力していくつもりです。平成10年度の「点字指導員資格認定講習会」は2年ぶりとなるので希望者が多いことが予想されます(174名の申し込みがありました)。郵送で提出する課題文と、講習会最終日に行う校正の試験の成績の格差が気になるところです。パソコン点訳が普及してきて、スピードアップされたのはよいことですが、一方で、点訳ソフトの機能に合わせた点訳や、点字版やタイプライターでは考えられなかったイメージミスも見受けられるようになり、新たな課題となってきています。

また、「点字を読めない点訳者」も増加してきているようです。少なくとも「点字指導員」の認定を受けようという職員・ボランティアはある程度の速度で点字を読み、間違いを発見できるようにでなければならぬと、委員会では考えています。平成8年に「講習会最終日の試験」を復活させたところ、合格率が前年度よりも20パーセントも下回ったことを重く受けとめ、各施設・サークル等で、今後の点訳者養成について今1度考えていただきたいと思っています。

サービス委員会

「活動内容」

- 1 第16回全国視覚障害者情報提供施設(点字図書館)実態調査
- 2 上記調査の集計・分析及び報告書作成
- 3 「点字雑誌一覧」「録音雑誌一覧」「サービス一覧」編集発行
- 4 その他

平成10年度活動について

第16回実態調査は、5年目の調査年にあたり、毎回の調査とは異なり質問項目が多岐に渡り(『日本の点字図書館6』では81項目、『日本の点字図書館11』では61項目)報告書をまとめるまで公私ともに個々の委員の労力と時間が費やされることとなります。

また、今回調査は点字図書館から情報提供施設へと名称が変更し、今後の調査を行なう上で予測される施設の性格の変化を読み取る必要があり、質問項目作成にも十分に検討を行なう必要があります。

そのため、平成10年度は、他の検討課題について委員会として消化することが困難と思われる。

ネットワーク委員会

平成10年度より、「てんやく広場」が特別委員会から常設委員会に格上げされ、ネットワーク委員会と統合されることとなった。

統合に伴い、ネットワーク委員会が「てんやく広場」を含めて視覚障害者情報ネットワーク（視情ネット）を担当することになる。全視情協のオンラインネットとして、従来の点字データの提供、書誌情報の提供に加え、サービスの観点、録音製作の観点から、と様々な方向から今後の展開が検討されることになる。

メンバー構成は、視覚障害関係情報全般の見地から、各常設委員会の委員長にも参加していただく。

活動としては、従来のネットワーク委員会（機械化委員会）のテーマとしての「図書館業務管理システム」が現在開発途中であることから、委員会で二つのテーマを取り扱う。

活動予定

1 視情ネット委員会

第1回委員会（6月中・日時未定）

委員会の活動内容の検討

委員会開催日時の検討

第2回以降未定

第1回の会合で予定作成

2 図書館業務管理システム委員会

（予定）

1. システムの完成 1998年夏（8月頃）

2. 取扱説明書 1998年夏（9月頃）

3. 説明のための講習会 1998年10月 全視情協長崎大会

（委員会開催日程）

第1回委員会（6月5日～6日 金沢）

システム進捗状況の確認

マニュアルなどについての検討

入力規則についての検討（NDL）

第2回委員会（8月7日～8日 金沢）

システム進捗状況の確認

マニュアルについての検討

バグ等についての検討

第3回委員会（未定）

第4回委員会（未定）

なお、本年度で「図書館業務管理システム」開発事業が終了した場合は、システム開発メンバーは任期を終えることとする。

録音委員会

昨年度は、全国視覚障害者情報提供施設協議会の会員施設が「フィールド・テスト」に参加し、録音図書へのデジタル化の方向が徐々に明確になりつつある状況にあります。一方、従来の「指導員認定講習会」の継続、「活動するあなたに」(レコーディング・マニュアル)改訂の課題を抱えています。

従って、昨年度同様、二つの班に分かれて次の活動を推進します。

活動の柱

- デジタル促進委員会小委員会に全委員が参加し、ガイドライン作りに携わる
- 音訳指導員資格認定講習会の継続実施
- デジタル録音・編集技術の普及

平成10年度
日盲社協 情報サービス部会
全国視覚障害者情報提供施設協議会
委員名簿

運営委員会 (日盲社協評議員・ は理事) (は委員長)

川越 利信	日本ライトハウス盲人情報文化センター (館長)
後藤 市郎	北海点字図書館 (館長)
西田 洋一	熊本県点字図書館 (館長)
金津 和栄	ライトハウス・ライブラリー (館長)
藤野 克己	視覚障害者生活情報センターぎふ (館長)
田中 徹二	日本点字図書館 (館長)
橋本 宗明	カトリック点字図書館 (館長)
菊野 幸雄	鹿児島県点字図書館 (館長)
水口 武夫	京都ライトハウス点字図書館 (館長)
金森 義忠	名古屋盲人情報文化センター (館長)
中村 嘉男	滋賀県立点字図書館 (館長)
盛田 義弘	石川県視覚障害者情報文化センター (所長)

企画委員会

川越 利信	会長	日本ライトハウス盲人情報文化センター (館長)
後藤 市郎	理事	北海点字図書館 (館長)
藤野 克己	副会長	視覚障害者生活情報センターぎふ (館長)
田中 徹二	副会長	日本点字図書館 (館長)
小野 俊己	サービス委員長	日本点字図書館
染谷 洋子	点訳委員長	カトリック点字図書館
河合 和美	録音委員長	名古屋盲人情報文化センター
村井 晶人	ネットワーク委員長	日本ライトハウス盲人情報文化センター

サービス委員会

小野 俊己 工藤 孝雄 川崎 弘 高見 伸枝 佐藤 裕美 内山 敏子	日本点字図書館 日本ライトハウス盲人情報文化センター 千葉点字図書館 三重県点字図書館 山形県立点字図書館 視覚障害者生活情報センターぎふ
---	--

点訳委員会

染谷 洋子 伊藤 邦子 高橋 恵子 山田 智直 水谷 吉文 櫛 玲子 矢部 弘毅	カトリック点字図書館 日本点字図書館 千葉点字図書館 視覚障害者生活情報センターぎふ 天理教点字文庫 大阪府盲人福祉センター点字図書館 京都ライトハウス点字図書館
--	---

録音委員会

河合 和美	名古屋盲人情報文化センター
デジタル録音調査・推進班	
天野 繁隆 村井 晶人 (一名欠員)	日本点字図書館 日本ライトハウス盲人情報文化センター (大会開催ブロックより補充)
音訳指導員資格認定講習班	
兄父由起子 熊谷 成子 矢口 町子	福井県視力障害者福祉協会点字図書館 静岡県点字図書館 茨城県点字図書館(任期あと一年)
オブザーバー委員	
櫻浦 勝彦	前・埼玉県点字図書館

ネットワーク委員会

村井 晶人	日本ライトハウス盲人情報文化センター
「視情ネット」担当委員	
小野 俊己 染谷 洋子 河合 和美 村井 晶人	日本点字図書館 サービス委員長 カトリック点字図書館 点訳委員長 名古屋ライトハウス盲人情報文化センター 録音委員長 日本ライトハウス盲人情報文化センター ネットワーク委員長
「図書館業務管理システム」担当委員	
荒川 朋子 村井 晶人	石川県視覚障害者情報文化センター 日本ライトハウス盲人情報文化センター
オブザーバー委員	
水野 舜 大山 克美	金沢工業大学教授 名古屋ライトハウス盲人情報文化センター

平成10年度
全国視覚障害者情報提供施設協議会
役員名簿

<p>会長 川越 利信</p>	<p>日本ライトハウス盲人情報文化センター（館長）</p>
<p>副会長 藤野 克己 田中 徹二</p>	<p>視覚障害者生活情報センターぎふ（館長） 日本点字図書館（館長）</p>
<p>運営委員 後藤 市郎 西田 洋一 金津 和栄 橋本 宗明 菊野 幸雄 水口 武夫 金森 義忠 中村 嘉男 盛田 義弘</p>	<p>北海点字図書館（館長） 熊本県点字図書館（館長） ライトハウス・ライブラリー（館長） カトリック点字図書館（館長） 鹿児島県点字図書館（館長） 京都ライトハウス点字図書館（館長） 名古屋盲人情報文化センター（館長） 滋賀県立点字図書館（館長） 石川県視覚障害者情報文化センター（所長）</p>
<p>監事 千田 米蔵 樋口 悦朗</p>	<p>千葉点字図書館（館長） 神奈川県ライトセンター（所長）</p>

介護支援専門員標準テキストのテープ版

50巻で25,000円 日盲連から発売

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師で、2000年（平成12年）からスタートする介護保険制度の介護支援専門員（ケアマネージャー）を志す人には必読書である『介護支援専門員標準テキスト』のテープ版が、日本盲人会連合から発売されている。C-90で50巻、25,000円。

ケアマネージャーになるには、試験をパスし、研修を受けなければならないが、試験の問題集であり、研修の教材にもなるのが、この『標準テキスト』。墨字版はA4版で1000ページという膨大なもの（5,000円）。テープで50巻になったのは、聞きやすいように、章・節などで各テープを頭出ししたため、1本あたりの値段は500円の実費。

ケアマネージャーを志す人はもちろん、各視覚障害者情報提供施設や公共図書館にも常備していただきたいテープ録音図書。

問い合わせ・申し込み先は、社会福祉法人日本盲人会連合 録音図書製作係。

電話 03-3200-0011 FAX 03-3200-7755

平成10年度
第24回 全国視覚障害者情報提供施設大会
(全視情協長崎大会)
- プログラムと特徴 -

長崎大会は、全視情協の平成9～10年度の基本方針である「視覚障害者情報提供施設のあり方を抜本的に検討する」というテーマに結論を出す場となるものと思われる。

あり方を検討する時、設備運営基準を避けては通れない。平成2年のいわゆる福祉八法改正の折、身障法第33条において名称は高度情報社会に対応すべく変更されたが、設備運営基準は手つかずの状態、したがって情報提供施設の実態も旧態依然のままである。

長崎大会においては、設備運営基準に重点をおいた研修と合意を得る機会としたい。

したがって、長崎大会の特色は以下の3点がポイントとなるものと思われる。

- 1 視覚障害者情報ネットワーク（点字情報と音声情報）の構築と充実にすること
- 2 設備運営基準改正案の決定と、視覚障害者情報提供施設のあり方ならびに今後の行動目標の確認にすること
- 3 全視情協の新組織としての本格始動にすること

全視情協長崎大会
開催要綱

目的 日々進展する高度情報化社会にあって、また新たな福祉時代を目前に控え、視覚障害者が入手しうる情報は極めて制約されており、一般社会との情報格差はますます拡大しつつあります。一方、視覚障害者のニーズは多様化し、即時性が強く求められています。このような激変する視覚障害者を巡る情報環境を踏まえ、そのニーズに対応するために「視覚障害者情報ネットワーク」を早急に構築し、情報提供施設間の協力体制を強化し、情報サービスの一層の充実に期するとともに、点訳・音訳指導員資格認定制度の検討、情報通信等に関する技術の習得等により、施設従事職員の資質向上を図り、よって視覚障害者の社会参加促進、さらにはノーマライゼーションの実現に資することを目的とする。

主催 社会福祉法人 日本盲人社会福祉施設協議会 情報サービス部会
全国視覚障害者情報提供施設協議会（全視情協）

主 管 九州点字図書館協議会
長崎県立点字図書館
声の奉仕会・マリア文庫

後 援 厚生省
(予定) 文部省
長崎県
長崎市
社会福祉法人 日本盲人会連合
社会福祉法人 日本盲人福祉委員会
全国盲学校長会
社団法人 日本図書館協会
財団法人 鉄道弘済会
各報道機関・社会福祉関係機関

協 賛 J B S 日本福祉放送

期 日 平成10年10月14日(水)～16日(金)

会 場 ルークプラザホテル
〒852-8007 長崎市江の浦町427-1
TEL 095-861-0055 FAX 095-861-8800

事務局 長崎県立点字図書館
〒852-8104 長崎市茂里町3-24 長崎県総合福祉センター内
TEL 095-846-9021 FAX 095-843-4589

大会日程

10月14日(水)	
10:00~12:00	運営委員会
12:30~13:30	受付
13:30~14:20	開会式
14:30~17:00	分科会 第1分科会 情報サービス-視覚障害者情報管理システム-(実習) 視覚障害者情報管理システムの学習会 担当:ネットワーク委員会 第2分科会 音声情報-デジタル録音システム-(実習) デイジーを核としたシステムの説明 担当:録音委員会
17:00~18:00	チェックイン、休憩
18:00~20:00	夕食 懇親会)

10月15日(木)	
9:00~12:00	<p>全体会1 「障害者福祉の動向と課題」 障害者福祉を大局的視点で据えて、大きく変わろうとしている社会福祉事業の流れを把握する。 講師(予定): 板山賢治氏(日盲社協理事長) 遠藤 浩氏(厚生省障害保健福祉部障害福祉課長) 担当: 企画委員会</p>
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~14:50	<p>全体会2 施設長研修(施設長会議) 特別企画・全員参加 社会福祉事業ならびに情報環境が大きく変化する中で、視覚障害者情報提供施設の役割とあり方を考えるにあたり、施設長だけではなく、大会参加者全員が参加して認識の共有を図る。 論点: 具体的な研修およびコンセンサスを得る場とするために設備運営基準を中心に論議を展開する。</p>
12:00~14:50	機器展示説明会
15:00~17:00	<p>全体会3 「運営基準を考える-運営基準案の文言等の具体的検討-」 担当: 運営基準改正案作成担当者</p>
18:00~20:00	夕食(各自)
18:00~20:00	企画委員会
10月16日(金)	
9:00~11:00	<p>全体会4 「視覚障害者情報提供施設の役割とあり方を考える 今後の行動目標の確認」 担当: 企画委員会</p>
11:00~11:30	<p>全体会5(報告) 2日間にわたって行われた分科会・全体会等の報告を行う。</p>
11:30~12:00	閉会式・解散
13:00~15:00	学習会(自主参加)(詳細は未定)

ずいぶんご無沙汰してしまいました。ナイーブ第19号をお届けします。

本号は、去る5月27日(水)~29日(金)、埼玉県で開催された日盲社協大会の情報サービス部会に提出された議題を中心に、大会報告も兼ねて編集しました。

平成9年度の活動報告等については次号で掲載いたします。

また、全視情協会則改正の詳細についても追ってご報告いたします。(事務局)

デジタル録音図書読書機

PLEXTALK (プレクストーク)

4月に売り出しました初回ロットは好評のうちに完売しました。今秋から本格発売します。現在のところ、デジタル録音図書は、名古屋盲人情報文化センター・京都朗読奉仁会 ロバの会で貸出を始めています。今後、貸出を開始する図書館やボランティアグループが増えていきます。

プレクストーク外観図

<主な特徴>

- 1) CD 1枚が約50時間の音声を記録
- 2) 読みたい部分へ一気にアクセス
- 3) 拾い読みができ、本の概要がすばやく把握
- 4) ページでひらける
- 5) しおりを付けられる
- 6) 速読できる
- 7) デジタル録音に依る高音質が楽しめる。

<価格>

AC電源タイプ

¥39,800 (税・送料抜き)

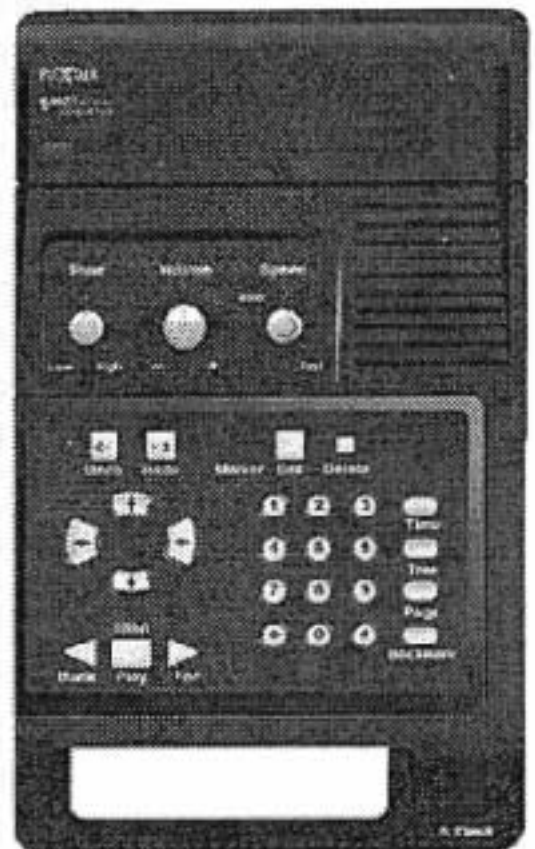
バッテリー搭載タイプ

¥46,800 (税・送料抜き)

<外形寸法・質量>

外形寸法：幅183×奥行295×高さ71mm

質量：1.6kg (AC電源タイプ)



プレクスター株式会社

〒103-8286 東京都中央区八重洲1-4-21共同ビル(東京駅前) 8F

TEL : 03-3517-8061 FAX : 03-3517-8065

担当：赤羽(あかばね) E-mail : nakabane@plextor.co.jp